

令和7年度 食品開発課 依頼試験手数料（税込）

（単位：円）

No.	項目	単価
定性分析		
1	簡易なもの	1,020
2	一般的なもの	1,950
3	特殊なもの	3,640
定量分析		
4	簡易なもの (灰分)	2,370
5	(エキス分)	2,370
6	(その他)	2,370
7	一般的なもの (窒素)	5,770
8	(脂肪)	5,770
9	(炭水化物 分析によるもの)	5,770
10	(ビタミンC)	5,770
11	(食塩塩分)	5,770
12	(酸度)	5,770
13	(油脂 酸価)	5,770
14	(油脂 過酸化価)	5,770
15	(油脂 その他)	5,770
16	(アルコール)	5,770
17	(その他)	5,770
18	特殊なもの (無機成分)	6,740
19	(その他)	6,740

No.	項目	単価
特殊機器による定量分析		
20	ガスクロマトグラフ又は液体クロマトグラフ 簡易なもの (有機酸)	14,820
21	簡易なもの (糖)	14,820
22	簡易なもの (K値の測定)	14,820
23	簡易なもの (その他)	14,820
24	一般的なもの	29,610
25	特殊なもの	64,880
26	ガスクロマトグラフ質量分析計によるもの	20,430
27	脂肪酸分析	14,970
28	微量成分分離分取高速システムによるもの	15,360
29	機能性成分高速分析XLCシステムによるもの	15,360
30	嗜好的機能特性評価システムによるもの	14,590
31	過酸化水素分析	6,290
物理化学試験		
32	簡易なもの (糖度)	1,060
33	(比重 (比重計によるもの))	1,060
34	(その他)	1,060
35	一般的なもの (水分)	1,780
36	(水分活性)	1,780
37	(pH)	1,780
38	(比重)	1,780
39	(物性 引張り強度)	1,780
40	(物性 その他)	1,780
41	(顕微鏡試験)	1,780
42	(その他)	1,780
43	特殊なもの	3,640
44	テクスチャーアナライザ試験	6,470
45	破碎試験 (1時間につき)	5,540
46	精油抽出試験 (1時間につき)	6,310

No.	項目	単価
食品保存試験		
47	一般的なもの (インキュベーターによる保存試験)	1,220
48	(その他)	1,220
49	特殊なもの (恒温恒湿器による保存試験)	3,670
50	(冷凍保存試験)	3,670
51	(その他)	3,670
微生物試験		
52	簡易なもの (顕微鏡検査)	1,650
53	(その他)	1,650
54	一般的なもの (生菌数)	3,650
55	(真菌)	3,650
56	(大腸菌群) ※1	3,650
57	(その他)	3,650
58	特殊なもの	7,450
定性分析・機械金属材料試験・物理化学試験・窯業材料試験(異物分析)		
59	特殊機器による定性分析 赤外分光光度計	7,040
60	組織試験 エネルギー分散型X線分析(簡易)	7,550
61	物理化学試験 一般的なもの(顕微鏡試験 異物)	1,780
62	窯業材料試験 デジタルマイクロスコープ試験	3,590
試料調整		
63	簡易なもの	990
64	一般的なもの	2,000
65	複雑なもの (アミノ酸分析前処理(遊離アミノ酸))	4,960
66	(その他)	4,960
67	特殊なもの (アミノ酸分析前処理(加水分解))	9,180
68	(脂肪酸分析前処理)	9,180
69	(その他)	9,180
成績報告書の複本等		
70	成績報告書の複本	460
71	証明書	620
72	証明書 (エネルギー(炭水化物含む)及び食塩相当量) ※2	620
73	文献複写	460

※ 前処理手数料(No.63~69)が別途必要になる場合があります。
また、項目の記載がない試験をご希望の方は食品開発課まで
ご相談ください。

※1 デソキシコレート寒天培地による培養後の赤色の定型的集落を測定します

※2 No.4、7、8、35の分析が必要です。食塩相当量についてはNo.18の分析も
必要です。これらの分析値から計算で求めた値を成績書に記載します。

食品栄養成分 表示 必須項目	No.4 灰分	6項目 (5成分)
	No.7 窒素(タンパク質)	
	No.8 脂肪	
	No.35 水分	
	No.72 証明書(エネルギー(炭水化物含む)及び食塩相当量)	
	No.18 無機成分(ナトリウム)	

注) 県外企業はこの表の単価の2倍になりますが、下線(下記)の項目(No.30)に
については減額承認申請により県内企業と同額になります。

No.30 嗜好的機能特性評価システムによるもの

令和7年4月1日現在